

オール沖縄・日本共産党衆議院議員 沖縄1区選出

あかみね政賢 国会だより

月刊 No.24

【九州沖縄ブロック事務所沖縄分室】
〒900-0016 那覇市前島3-1-17
電話.098-862-7521 FAX.098-862-7735【国会事務所】〒100-8981 千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館1107号室
電話.03-3508-7196 FAX.03-3508-3626

初登院するタカラ氏（中央）と歓迎するうりすんの会の国会議員

タカラさちかさん初当選
「沖縄の民意を形にできた」

7月20日、参議院議員選挙が投開票され、沖縄選挙区は「オール沖縄」のタカラさちかさんが26万5203票を獲得し、初当選を果たしました。

タカラさんは、暮らし、平等、平和の観点から3つの「生きる」を掲げ、選挙戦を展開。食べていくこと

さえ困難な状況を生んでいる物価高に對し、消費税やガソリン税の減税を訴えました。一方の自民党は「何としても消費税を守り抜く」（森山裕幹事長）と強調。同党から立候補した奥間亮氏は「沖縄特別減税」を打ち出し、「沖縄自民党は本土の自民党とは違う」と打ち消しに走りましたが、支持は広がりませんでした。

平和の問題でも、タカラさんは辺野古新基地建設や那覇軍港の浦添移設、南西諸島で進む自衛隊ミサイル配備に明確に反対し、相手候補との対決点が鮮明に。自民党などから繰り返される沖縄戦を巡る歴史の歪曲についても、絶対に許さないと訴え抜きました。

14日には、那覇市で政党演説会が行われ、日本共産党の志位和夫議長、立憲民主党の野田佳彦代表、社民党の福島瑞穂党首がそろい踏み。玉城デニー知事も参加し、「オール沖縄」の団結を示しました。

タカラさんを応援する人々の輪は日増しに広がり、「自民党員だけど、今の自民党は信用できないからタカラさんに投票してき



参議院選挙で小3の孫が支持した候補者は吉良よし子さんだった▼その理由は宿

題の「撤廃」を主張しているからだという。なるほどと思った▼孫の国語の教科書を開いてみたが、感動する児童文学が見当たらない。じーじが「雨ニモマケズ」の詩を朗読してあげたが孫の反応はイマイチだった▼地域の野球チームに入った。初戦は10点差で大敗。一塁を踏んだ選手は我が孫だけ。ピッチャー前のぼてぼてのゴロをセーフにした▼将来は高校野球からプロ野球、そして大リーグを目指すという。今はプロ野球選手の伝記に夢中だ。

この間の活動

- 第四次嘉手納基地爆音訴訟定期総会に参加(5月31日)
- 沖商連第43回定期総会で挨拶(6月1日)
- オール沖縄会議主催の辺野古新基地建設に反対する院内集会に参加(同3日)
- 東京医労連の請願デモを激励(同5日)
- 「戦争止めよう!沖縄・西日本ネットワーク」主催の政府交渉、全国空襲連主催の緊急院内集会に参加(同6日)
- 辺野古ゲート前で行われた県民大行動に参加(同7日)
- 日本共産党の山添拓政委員長を招いた街頭演説会で訴え(同8日)
- 沖縄原水協の平和行進に参加(同15日)
- 嘉手納、普天間爆音訴訟原告団主催の米軍による人権侵害・環境破壊・基地機能強化に反対する緊急集会(同16日)
- ガマフヤーの沖縄戦慰霊祭・南部遺骨土砂問題政府交渉に参加(同17日)
- 空襲議連に出席(同19日)
- 沖縄全戦没者追悼式に出席(同23日)
- 沖縄県主催のシンポジウム「戦後80周年の沖縄から国際平和を考える」に参加(同24日)
- 豊見城市の空手会館で行われたタカラさちか総決起大会に参加(同28日)
- 宮森小学校ジェット機墜落事件慰霊祭に出席(同30日)
- タカラさちか出発式に参加(7月3日)



- タカラさちか小緑総決起大会で訴え(同18日)
 - 米軍が石垣市の伊野田漁港を救難訓練の目的で使用していた問題で現地調査(同25日)
 - 小緑事務所祝勝会に参加(同26日)
 - 宇栄原大綱引きに参加(同27日)
- ※紙幅の都合上、選挙の集会・街頭宣伝については全ては記載していません。

た」「西田発言だけは許さない」と声をかけてくれる人が増えていきました。演説を聞いた人が心を打たれて、友人に支持を広げるなど、県民一人ひとりの立ち上がりが見られました。

当確後のインタビュでタカラさんは「沖縄の声を必ず国政に届け、平和の一議席を守り抜かなければならないという思いがあった」と語り、選挙戦を通じて「沖縄の民意を形にできた」と語りました。

8月1日、うりずんの会の国会議員に迎えられ、初登院を果たしました。



公約実現への決意を固める那覇市議と赤嶺議員ら

5名は翌日、赤嶺政賢議員らと街頭に立ち、選挙結果と公約実現に向けた決意を報告。古堅市議団長は、多数激戦の市議選で6人全員勝利に届かなかったものの、参院沖縄選挙区では「オール沖縄」代表のタカラ沙哉氏が自民候補に快勝したことを力



質問する赤嶺議員

沖縄戦美化の学習資料 使用中止を 赤嶺議員が追及

説。「全国でも消費税減税を掲げる野党が躍進し、参院で自公を少数に追い込んだ。保革を超えたオール沖縄の団結をさらに強め、必ず前の平和も暮らしも守れない」と強調し、「力を合わせ、日本の政治を変えよう」と呼びかけました。

赤嶺議員は、自民陣営が「沖縄自民党は本土の自民党とは違う」と繰り返した

赤嶺政賢議員は6月12日の衆院安全保障委員会、陸上自衛隊の幹部候補生学校が沖縄戦当時の旧日本軍第32軍による持久戦を「本土決戦準備のために偉大な貢献をなした」と評価する学習資料を作成していた問題を取り上げ、使用中止を要求。中谷元防衛相は「学校において資料の見直し作業を進めている」としながら、「捨て石作戦」だったとの認識は「一切持っていない」と強弁しました。

那覇市議選 日本共産党5名当選

参議院議員選挙と同日に行われた那覇市議会議員選挙(定数40)で、日本共産

党は古堅茂治、湧川朝渉、我如古一郎、前田千尋、西中間久枝の5名が当選しました。上原安夫は及びませんでした。